

2015年4月14日



各 位

会 社 名 J C R フ ァ ー マ 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長 芦 田 信
(東証1部 コード番号4552)
問 合 せ 先 経 営 戦 略 部 長 本 多 裕
(TEL 0797-32-8591)

持続型成長ホルモン製剤（開発番号：JR-142）の臨床開発に向けた
業務開始のお知らせ

当社は、主力事業のひとつである成長ホルモン事業の更なる拡充を目指して、新たな持続型成長ホルモン分子を独自に創出し、持続型成長ホルモン製剤（開発番号：JR-142）として臨床開発に向けた業務を開始しましたのでお知らせいたします。

成長ホルモン補充療法は、通常、週6～7回の自己注射を基本としているため、とくに小児の患者様にとっては、ほぼ連日となる注入の手間や痛みの問題が課題として挙げられておりました。この様な課題に対応するため、当社は、より簡便な専用注入器として「グロウジェクター2®」を上市し、高い評価を頂いております。また、溶解の手間を省いた液状製剤の開発も現在進めております。

このような流れの中で、長時間にわたって効果を発揮できる持続型成長ホルモン製剤は、患者様の大幅なQOL改善につながることから、当社は重要テーマのひとつとして研究を続けてまいりました。そして、この度、新たな持続型成長ホルモン分子を独自に創出し、目標とする性能を確認できましたので、本件に関する特許を申請するとともに、JR-142として臨床開発に向けた業務を開始いたしました。なお、JR-142の生産につきましては、当社独自のCHO細胞高発現技術（J-MIG Systemと命名）を採用することで優れた経済性が期待され、将来のグローバル展開を視野に入れて準備を進めております。

今後、持続型製剤を成長ホルモン製品のラインナップに加え、より幅広い選択肢を提供できると同時に、併せて持続型製剤専用注入器の開発も進め、より簡便でコンプライアンス（投薬順守）の高い成長ホルモン治療をご提供してまいりたいと考えております。

当社は、今後も付加価値の高いバイオ医薬品により、多くの患者様のQOL向上に貢献できるよう取り組んでまいります。

なお、本件に関わる今期業績への影響は軽微でございますが、当社では将来の売上に寄与するものと期待しております。

以上